

VFI-330B5

スピードドーム赤外線ネットワークカメラ

取扱説明書



2026 JUL. V1.0



H.265



CMOS
1/2.8"



LENS
4.7~141mm



30x



0.005 LUX



-30~60°C



CMS

使用上の注意事項

使用前にお読みください

本ユーザーソフトウェア/ハードウェア規約は、使用者（個人または端末）と当社との間に法的効力を有します。

本規約には、関連するソフトウェア/ハードウェアのコンポーネント、メディア、印刷物、

およびオンライン配信されるファイルが含まれます。

インストール、コピーまたは他の方法で本規約に含まれる製品の使用は、本規約を遵守しなくてはなりません。

本規約に同意いただけない場合は、製品のインストールおよび使用を行わないでください。

本製品は、著作権法および国際著作権条約、ならびにその他の知的財産権に関する法律および条約の保護を受けています。

規約は使用許諾であり、販売ではないことにご留意ください。

使用許諾契約書上のソフト/ハードウェア許諾コードをもって使用を許諾します。

・ 版權 ・

当社は全てのタイトル、版權、ソフト/ハードウェア製品及びあらゆるコピーを保有します。

当社は明確に許諾していないあらゆる権利を保有します。

・ 免責事項 ・

製品保証以外の承諾は、一切認めません。

当社は、本製品および関連するドキュメント（当社または第三者による改変の有無を問わず）に関し、

明示的または黙示的ないかなる保証を行いません。

条約および条件

ソフトウェア/ハードウェアの使用および性能に伴い、リスクが発生する可能性があります。

本製品は、特定の設備やハードウェアと組み合わせて使用することにより、

監視行為やデータ処理が可能となる場合があります。これらの行為は、プライバシー保護に関する法律によって制限されたり、違法と判断される可能性があります。

製品の使用方法が法令に抵触した場合、その責任はすべて使用者に帰属することにご留意ください。

・ 責任制限 ・

本規約は、法律が許容する範囲で適用されます。

如何なる状況においても、その販売店は特殊な、偶発的な、間接的な原因（商業利益の損失、業務中断、商業データ損失、そのた金銭的な損失の賠償を含む）でソフトウェア製品が使用不能な状況を適切にサポートします。

本会社がこの手の損害の可能性を知らされた場合においても同様です。

故意や重大な過失がなければ、本規約における責任は、製品の金額に限られます。

・ その他の条約 ・

(A) ソフトウェア/ハードウェア製品のいかなる部分についても、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または分解することを禁止します。

(B) 本規約の条項に同意し、それを遵守している限りにおいて、本製品の使用权を永久に第三者へ譲渡することが可能です。

・ 終わりに ・

他の権利が制限されることなく、当社は本規約契約を終了させる権利を有します。

本規約の条項および条件に違反した場合、ソフトウェア製品のすべての複製物を破棄しなければなりません。

使用上の注意事項

警告

- ・湿度の高い、直射日光、高温または密閉した環境で本体の設置を行わないでください。
システムの効率低下、漏電または災害の恐れがあります。
- ・濡れた手で電源ケーブル及びプラグ、コンセントに触らないでください。
感電する恐れがあります。
- ・電源ケーブルを曲げたり、上に重量物を置かないでください。
人や機材が損傷する恐れがあります。
- ・破損またはプラグのない電源ケーブルを使わないでください。
感電などの事故に繋がる恐れがあります。
- ・独立した電源を使用し、他の電器とコンセントを共有させないでください。
感電などの事故に繋がる恐れがあります。
- ・自分で解体、改造またはメンテナンスをしないでください。
感電などの事故に繋がる恐れがあります。
メンテナンスの必要があれば、販売店にお問い合わせください。
- ・電器の筐体を開けたり、ものを差し込まないでください。
感電などの事故に繋がる恐れがあります。
- ・本体が持つもの以外のケーブルで接続しないでください。
メンテナンスの必要があれば、販売店にお問い合わせください。

注意

- ・電器を斜めや平らじゃない場所に置かないでください。
動作効率の低下やエラーに繋がる恐れがあります。
- ・録画中は本体に振動を与えたり揺らさないでください。
本体やICの破損に繋がる恐れがあります。

その他の製品情報はVACRON公式サイトにてご確認ください

	注意 起動の際電圧をご確認ください。	
---	--	--

目次

使用上の注意事項 -

A. Microsoft Edge ログイン 4

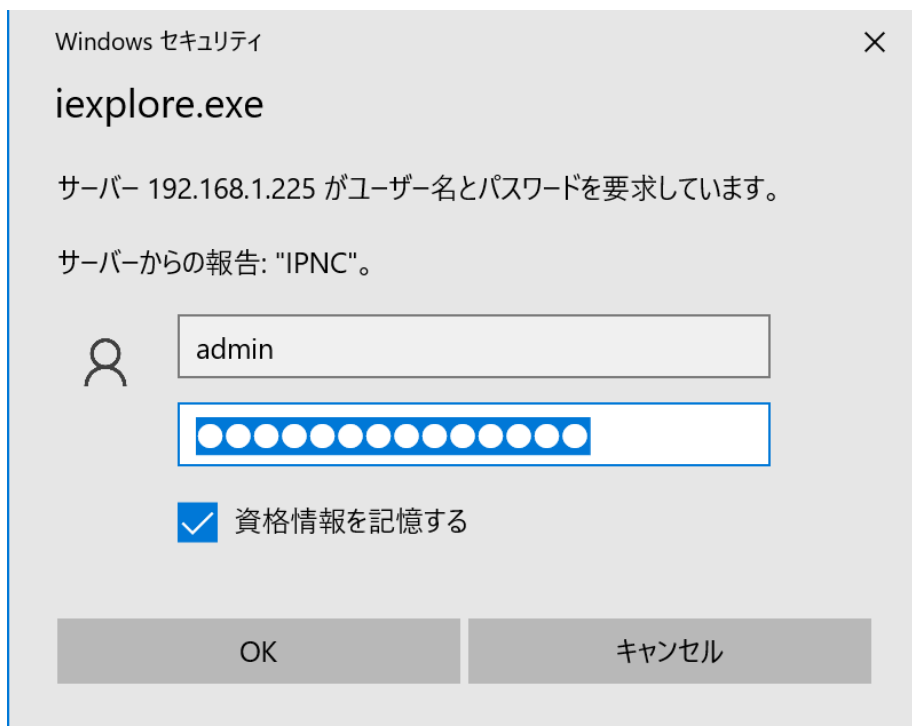
B. 状態説明 6

C. 設定説明 12

D. メンテナンス説明 27

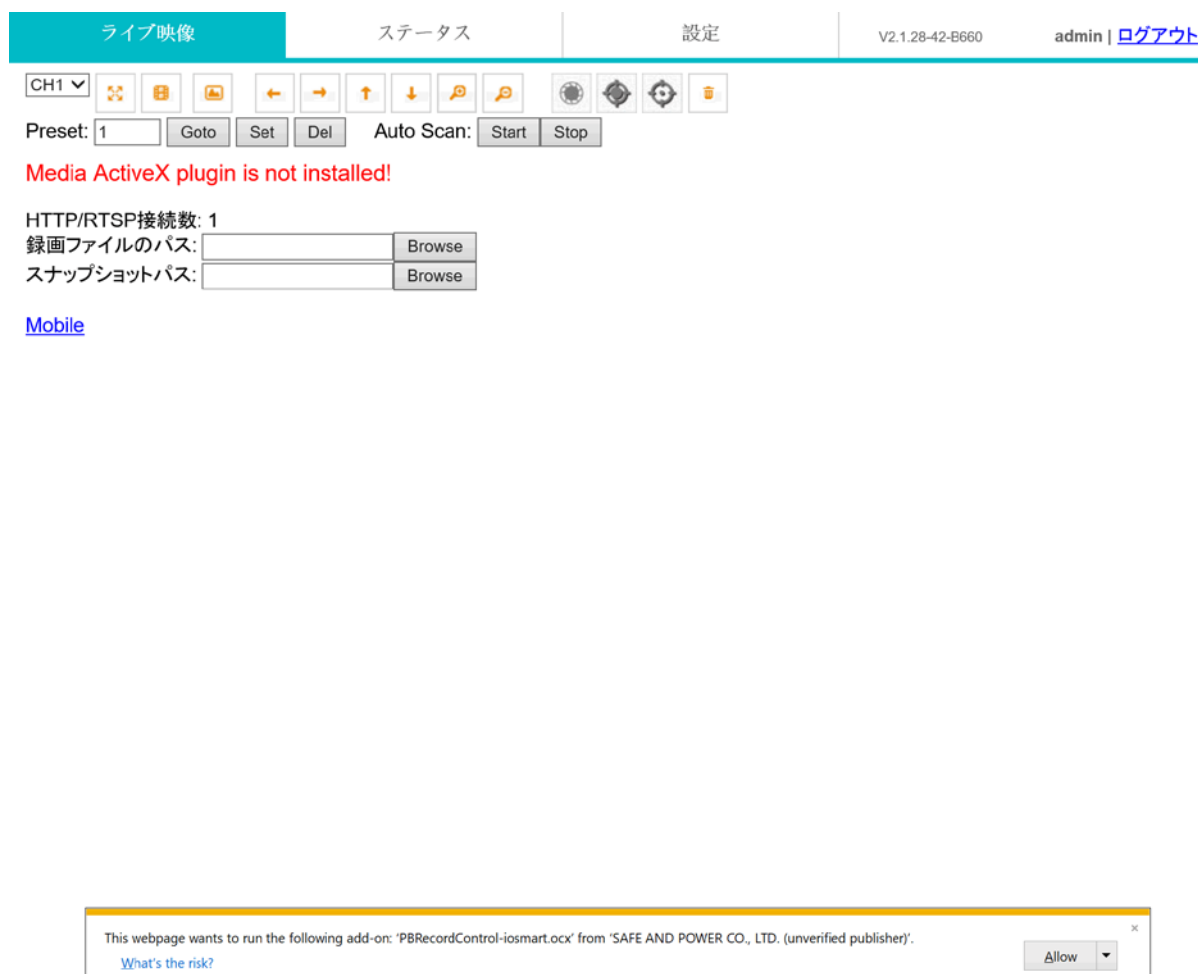
A. IE Webログイン

ログイン画面でのパスワード認証



ユーザーがIEのアドレスバーに該当カメラのIPアドレスを入力すると、カメラの設定ページおよび操作画面にアクセスするにはアカウントとパスワードの認証が必要です。
(初期設定のアカウントとパスワードは共に「admin」です。)

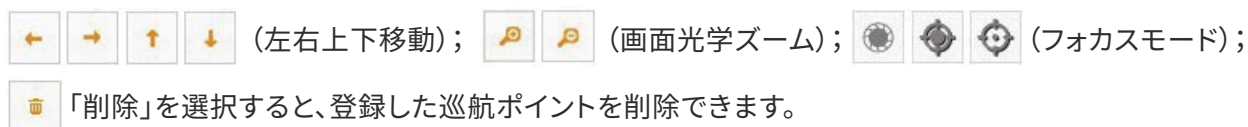
LiveのOCXインストール及びボタン機能



1. 初めてカメラを使用する際に、OCXコンポーネントのインストールを求められます。
ダウンロードしてインストールしてください。
2. IEインターフェースで下図の画面が表示された場合は、
IEインターネットオプションのセキュリティ設定を変更してください。
セキュリティ設定の「未署名のActiveXコントロールのダウンロード」を「有効にする」に設定してください。
これにより、インストールプログラムがシステムによって自動的に削除されることを防ぎます。
3. ボタンを押すと、CH1およびCH2のメインストリーミングとサブストリーミングの
ライブ画面を切り替えることができます。
切り替え後、メインストリーミングおよびサブストリーミングの映像が正常に表示されているか確認できます。
4. ライブ画面の左上には、 全画面表示、 リアルタイム録画、 スナップショット撮影などのクイック
操作ボタンがあります。
ユーザーが簡単に操作できるよう、リアルタイム録画やスナップショット撮影などのクイック操作機能を
提供しています。
これらの機能を使用するには、あらかじめ保存先を設定する必要があります。
保存先を設定すると、各機能が有効になります。

取扱説明書

5. 下記のアイコンは、雲台またはPTZ機能搭載モデルで利用できる操作アイコンです。



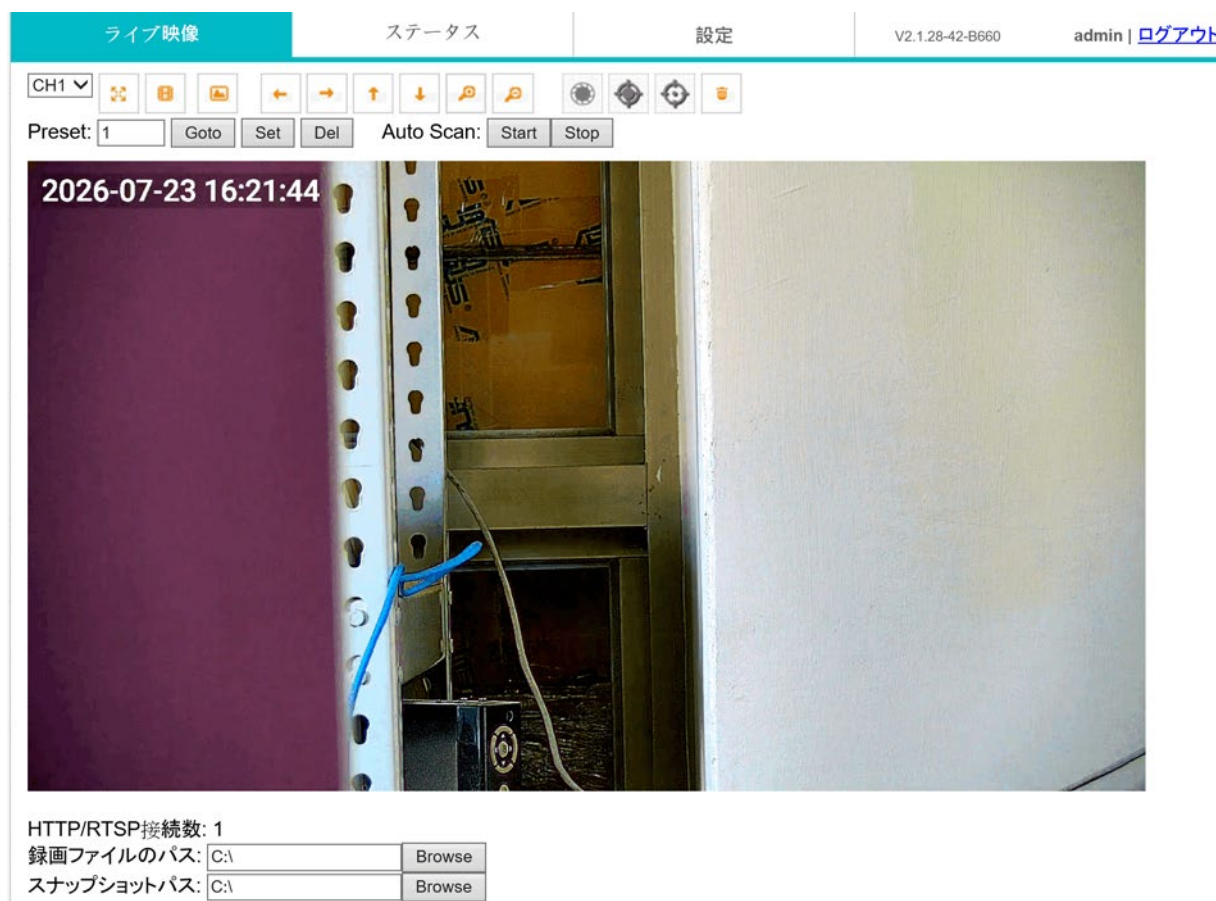
「Preset(プリセット)」では最大16か所の巡航ポイントを設定でき、
UIから自動プリセット位置への移動および巡航機能を実行できます。

B. 状態説明

IE画面の機能説明

1. ログイン後のページは上下2つのエリアに分かれています。

上部はIEページの各種機能、下部はカメラ監視画面、手動録画、録画保存先、スナップショット保存先、および雲台操作機能を表示します。



CH1
CH2 :メインストリームまたはサブストリームの切り替えます。

 : 録画

 : カメラを上下左右に移動します

 : フォカス

取扱説明書



: 巡航データを削除します



: 巡航ポイントを削除します



: 全画面ズーム

Preset:

: 巡航ポイント設定 (最大16ポイント)



: スナップショット



: 巡航ポイント保存



: 画面の拡大縮小

Auto Pan

: AからBまで自動的に巡回します。



: 遠近距離のAFロック

Auto Scan:

: 自動的に登録した巡航ポイントを巡回します。

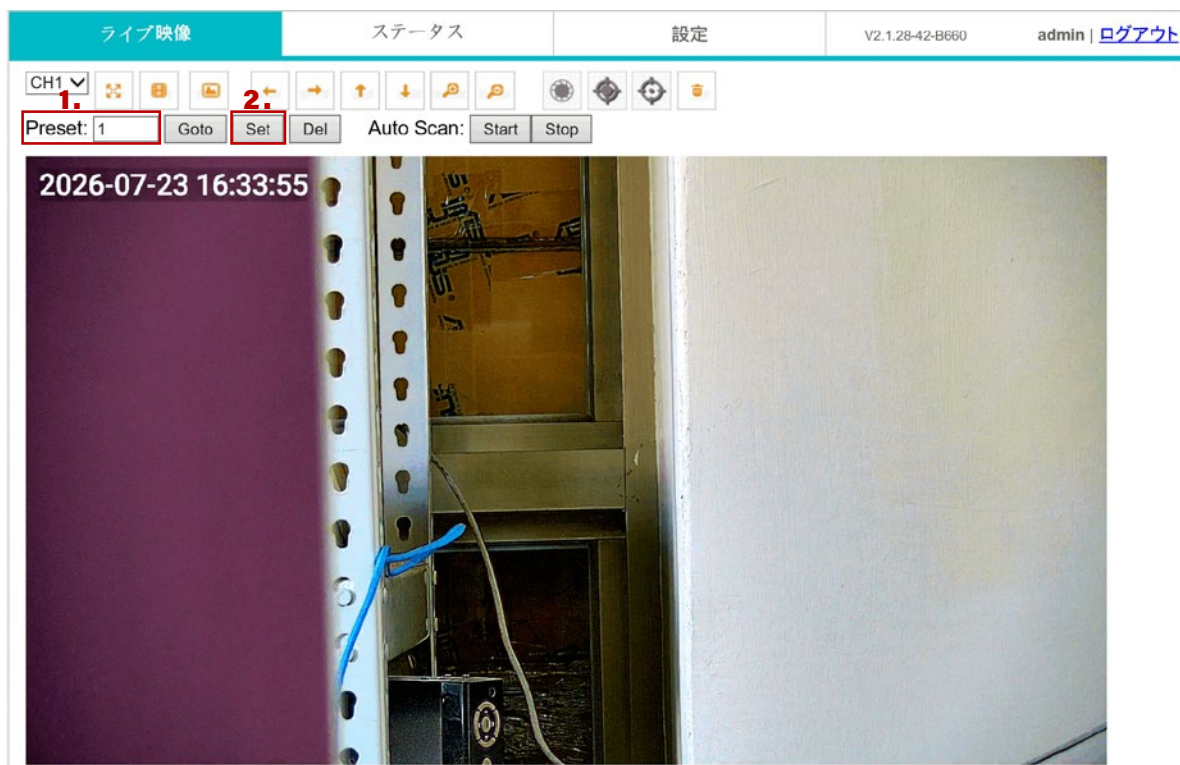


: 巡航ポイントに移動します

取扱説明書

カメラ巡回設定

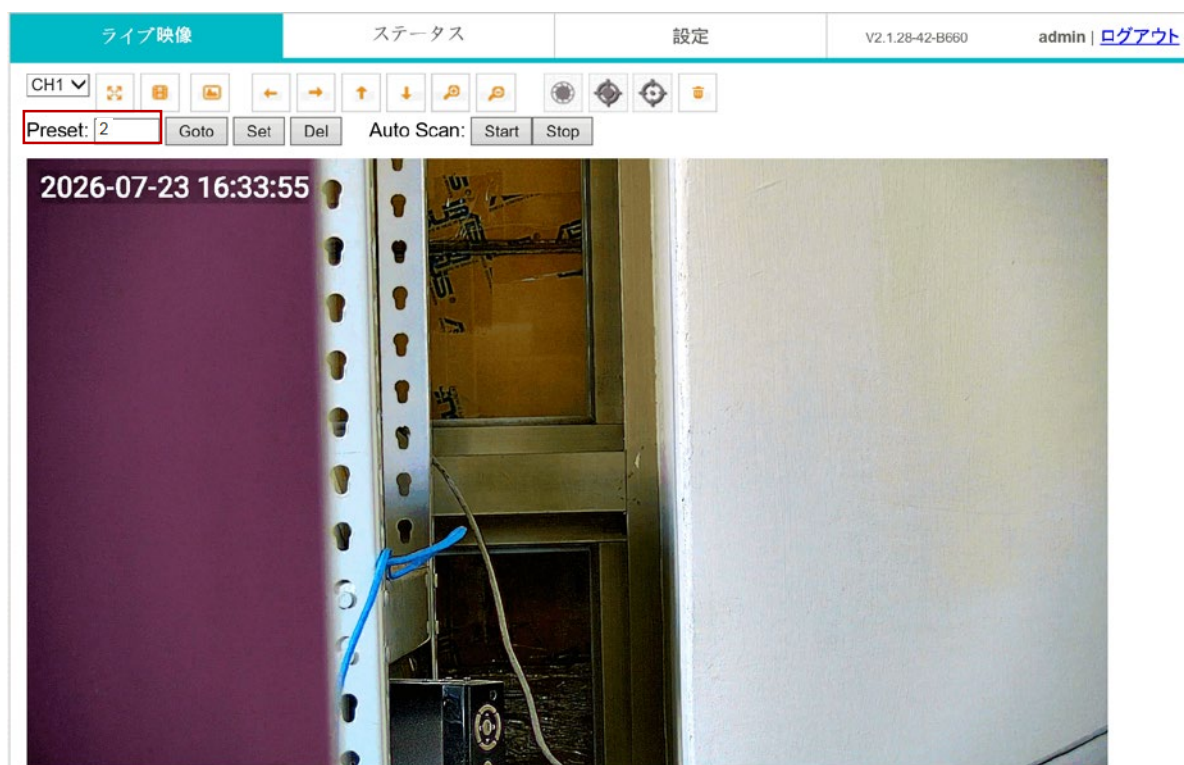
1. カメラを巡回させたいライブ画面へ移動します。下図のように **Preset: 1** 設定すると **Set** 、巡回ポイントの登録が完了します。(巡回ポイントは最大16点まで設定できます。)



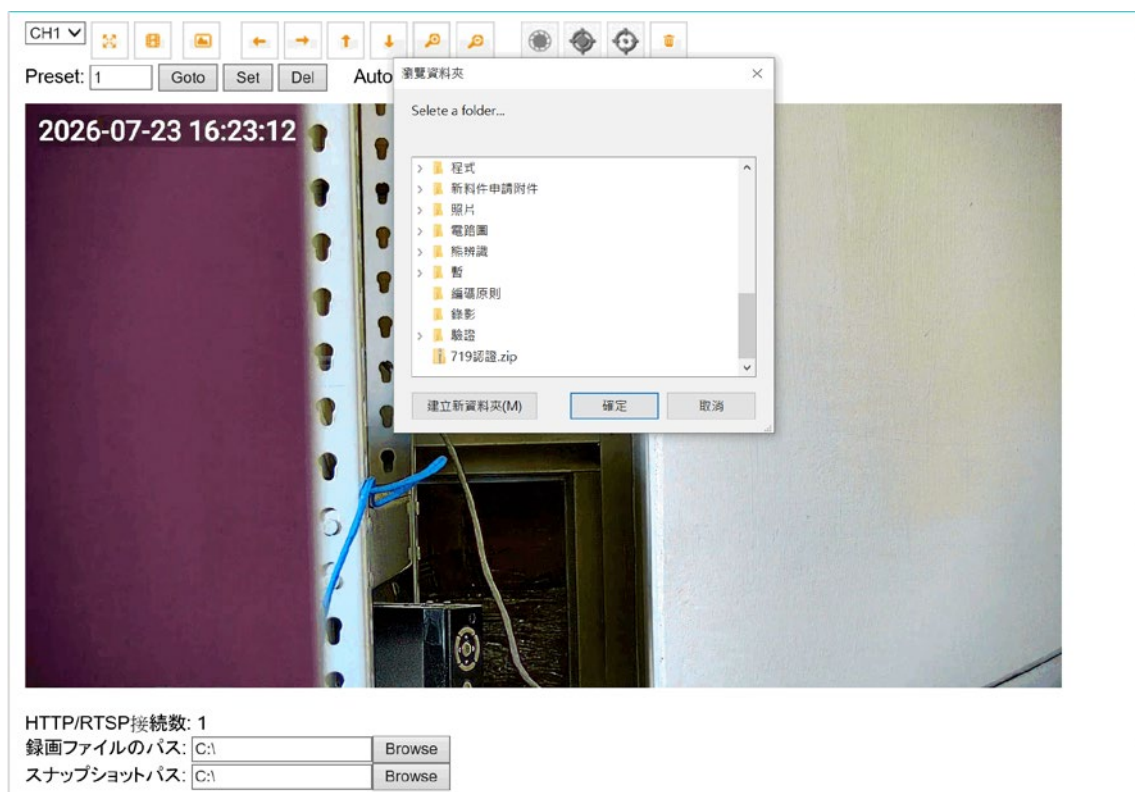
上記の操作手順に従い、2点の巡回ポイントを設定します(下図参照)。

Auto Scan: Start ボタンを押すと、カメラが設定した巡回ポイントを自動的に巡回します。

巡回を停止する場合は、再度 **Stop** ボタンを押してください。



ライブ画面表示と保存先設定

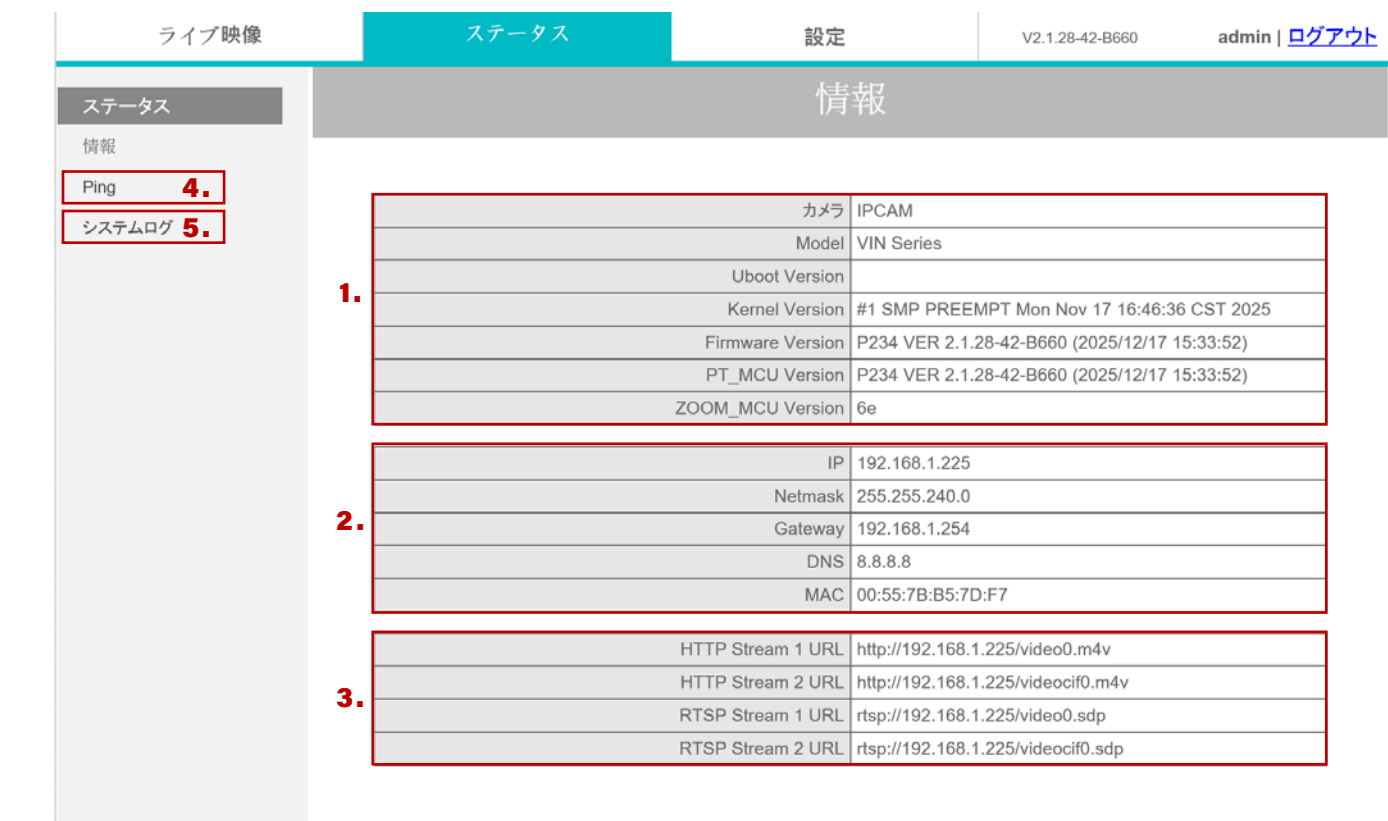


1. ライブ画面は、ActiveXのインストール後に有効になります。
2. LIVE画面の下部には、現在のHTTP/RTSP接続数が表示されます。
接続ユーザー数がIPカメラの上限値に達しているか、または超えているかを確認できます。
3. ライブ画面の下部では、リアルタイム録画およびスナップショットの保存先を変更できます。

録画ファイルのパス: : 録画保存先を設定できます
(ブラウザで設定を行うには、システム管理者権限を有効にする必要があります。)

スナップショットパス: : スナップショット保存先を設定できます
(ブラウザで設定を行うには、システム管理者権限を有効にする必要があります。)

情報ページでは、本製品のシステム情報や動作状態などの各種情報を確認できます。



情報ページは3つのエリアに分かれています。それぞれ「ファームウェアバージョンエリア」、「ローカルIPアドレスエリア」、「ネットワークプロトコルエリア」です。

- 1.ファームウェアバージョンエリアには、Ubootバージョン(起動ファームウェア)、Kernelバージョン(基盤ファームウェア)、Firmwareバージョン(本体ファームウェア)など、CPUやDDRの動作周波数を含む重要な情報が表示されます。
- 2.ローカルIPアドレスエリアには、現在設定されているIPアドレス、ゲートウェイ、機器のMACアドレスなどが表示されます。
- 3.ネットワークプロトコルエリアでは、カメラが対応している基本的な映像・音声のネットワークストリームプロトコルが確認でき、ネットワークストリーム再生に対応するプレイヤーと連携して映像・音声の再生が可能です。
- 4.ページ左側の「Ping」機能では、カメラから接続先本体へのPing通信を実行し、ネットワーク接続が安定しているかを確認できます(図1参照)。
- 5.ページ左側には「システムログ」も表示され、これは製造元の技術スタッフがIPカメラの動作状態を確認するためのログ情報です(図2参照)。



(図1)



(図2)

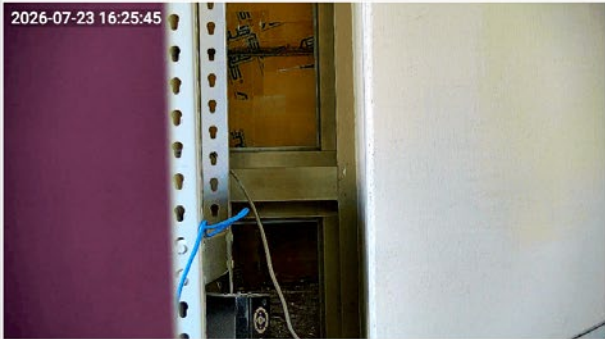
C. 設定説明

映像設定

カメラ

IPCAM

2026-07-23 16:25:45



Stream 1

データの圧縮

H264

解像度

1920 X 1080

フレームレート

30

fps

GOP [1 - 600]

30

レートコントロール

VBR

ビットレート

4000

Kbps

QP [0 - 51]

☒ InitQP

15

MinQP

15

MaxQP

40

設定データ

High

スナップショット 品質要素 [0 - 100]

75

Stream 2

データの圧縮

H264

解像度

640 X 480

フレームレート

20

fps

GOP [1 - 600]

20

レートコントロール

VBR

ビットレート

512

Kbps

QP [0 - 51]

☒ InitQP

1

MinQP

1

MaxQP

40

設定データ

High

スナップショット 品質要素 [0 - 100]

75

オーバーレー設定

日付

☒ YYYY-MM-DD

☒ 24Hrs

white

左上

Stream 1 テキスト

☐

white

右下

Stream 2 テキスト

☐

white

右下

Background Color

black

25%

ビデオソース

レイド

OFF

Rotate

OFF

受け入れる

リセット

デフォルト

1.

2.

取扱説明書

映像設定ページでは、該当カメラの映像に関する各種数値を設定・調整することができます。上図のように設定は大きく2つのエリアに分かれています。

上部はカメラのライブ映像が表示され、ストリームの解像度やビットレートなどの関連設定を行います。

下部はカメラの映像出力に関する追加機能設定が可能です。以下に各項目を順番に説明します。

1. カメラ名：ソフトウェアまたはNVRで表示・検索されるカメラ名を変更します。
カメラ名を分かりやすく設定することで、設置場所を識別しやすくなり、目的のカメラを容易に確認できます。
2. ストリーム：出力するストリームを選択します。
メインストリーム (Stream 1) とサブストリーム (Stream 2) の2種類から選択できます。
3. デコード：この項目では、選択したストリームに適したコーデック (圧縮方式) を選ぶことができます。
カメラのハードウェア性能を考慮した上で、最も安定した組み合わせが初期設定として表示されます。
利用可能な選択肢としては、H.264 と H.265 の2種類があります。
4. 解析度：選択した出力ストリームに応じて、ユーザーはそのストリームに合った出力解像度を設定でき、ユーザーの用途やデバイスの性能に合わせた最適な調整が可能です。
メインストリームの初期設定解像度には以下の選択があります：VGA (640x480)、720P (1280x720)、1080P (1920x1080)
サブストリームの初期設定解像度には以下の選択があります：CIF (352x240)、NHD (640x360)、VGA (640x480)
5. フレームレート：カメラが1秒間に出力するフレーム数を設定します。単位はFPS (Frames Per Second) です。
6. GOP：1秒あたりのIフレーム数を調整できます。FPSとGOPの設定に基づいて、毎秒生成されるIフレーム数を計算し、他のNVRモデルにも適用可能です。
これにより、映像のカクつきや一時的な停止 (画面フリーズ) を低減できます。(デフォルト値は40)
7. ビットレート調整：VBR (可変ビットレート) またはCBR (固定ビットレート) を選択でき、録画データの容量を削減できます。(デフォルトはVBR)
8. OSD表示機能：日付、時刻、文字情報をカメラ映像上に表示し、録画時には映像データとともに保存できます。
データ再生時に、どのカメラで録画された映像か、および録画日時をユーザーが一目で確認できます。
日付表示は、「月-日-年」「年-月-日」「日-月-年」の3つの表示形式から選択できます。
時刻表示：24時間表示と12時間表示を切り替えることができます。
テキスト表示：最大32バイト (全角16文字) まで入力可能です。
OSDの表示位置は「左上・左下・右上・右下・上下中央」などから設定可能です。
表示色は16種類から選択できます。
9. ミラーリング：カメラ取付時に上下逆さまに設置した場合でも、映像のキャリブレーション (補正) が可能です。
水平反転、垂直反転、水平 + 垂直反転の3種類から選択できます。

カメラ	IPCAM		
-----	-------	--	--

感光パラメーター

2026-07-23 16:26:46



シーンモード	☒ Normal ☐ Starlight ☐ Day ☐ Night ☐ Indoor		
明るさ [0 - 200]	Day	100	Night 100
コントラスト [0 - 200]	Day	100	Night 100
彩度 [0 - 200]	Day	100	Night 100
シャープネス [0 - 200]	Day	100	Night 100
色合い [0 - 360]	Day	0	Night 0
DNR, [0 - 200]	Day	100	Night 100
BLC [0 - 4095]	R	256	Gr 256 Gb 256 B 256
フリッカーコントロール	☒ 60 Hz ☐ 50 Hz		
Night Color	☒ OFF ☐ ON		
Auto Adjust ISP	☒ OFF ☐ ON		
ホワイトバランス	☐ OFF ☒ ON		
WDR	☒ OFF ☐ AUTO ☐ 手動		
Defog	☒ OFF ☐ ON		
Digital Image Stabilization	☒ OFF ☐ ON		

電子シャッター

☒ ダイナミック

☐ 静止

Day	最小シャッター [1 - 100000]	1 / 100000 秒
	最大シャッター [1 - 100000]	1 / 30 秒
	Min. Gain [0 - 8192]	1
	最大ゲイン [0 - 8192]	4096
Night	最小シャッター [1 - 100000]	1 / 100000 秒
	最大シャッター [1 - 100000]	1 / 30 秒
	Min. Gain [0 - 8192]	1
	最大ゲイン [0 - 8192]	4096

IR 設定

☒ AUTO

☐ スケジュール

ライトセンサー検知	
IR Cut 確認	☐

プライバシーゾーン

有効

☐

受け入れる

リセット

デフォルト

14

取扱説明書

カメラ設定ページでは、該当カメラの映像に関する明るさやコントラストなどの光影に関する値を調整できます。

上図のように設定は3つのエリアに分かれています：

上部は光影調整に関する設定です。中央はシャッター制御エリアです；

下部は追加機能の設定です。以下に項目順に説明します。

1. センサーパラメータ：明るさ、コントラスト、彩度、シャープネスはそれぞれ0～200の範囲で調整可能。

色相は0～360。デフォルト値は100です。

IPカメラの映像の色合いを手動で微調整したい場合は、このエリアで各種パラメーターを変更できます。

2. カラーモード：カメラの昼夜モードを自動または強制的に切り替える機能で、4つのモードから選択可能です。

ノーマル (Normal)：IRライトボートのセンサーで現場の明るさを自動検知し、

カメラを昼夜モードに切り替えます。IRカットフィルターも連動して制御されます。

昼間：映像を常にカラーで表示します。IRライトボートの信号を無視しますが、

IRライト自体は環境に応じて動作します。

夜間：強制的に夜間モノクロモードへ切り替え、IRフィルターを有効にします。

IRライトによる補光に対応しています。IRライトの制御信号は無効化されませんが、

IRライトの点灯/消灯は周囲の明るさに応じて制御されます。

3. 照明フリッカー抑制：蛍光灯などの照明は、電源周波数 (50Hz/60Hz) の影響により、

映像上にちらつきや縞状の模様が発生する場合があります。

デジタル映像ではフリッカーの発生頻度は低いですが、

複数の光源が重なる環境では発生する可能性があります。

設定値を調整することで、フリッカーを効果的に抑制できます。

4. ホワイトバランス：ON/OFFを設定できます。(初期設定：有効)。

5. 電子シャッター：シャッター速度を設定できます。モードは「ダイナミック」と「固定」の2種類があります。

ダイナミックモードでは、入光量に応じてシャッター速度を自動調整し、

適正な露出を維持します；ダイナミックモード：昼間・夜間それぞれの数値設定が可能です。

シャッター速度の最大値・最小値を設定し、環境に応じて自動適用します。

固定モード：固定したシャッター速度で動作し、入光量に応じて適切な露出を確保します。

シャッター速度の分母の数値が大きいほど残像を低減できます。分母の数値が小さいほど入光量が増加します。

6. DNR (ノイズ抑制)：ノイズの主な原因は低輝度環境で発生する映像ノイズです。本機能を有効にすると、

平滑化アルゴリズムにより低照度環境で発生するノイズを抑制します。

低照度環境での安全監視用途では、映像品質を維持するため、ノイズ抑制は重要な機能です。

7. PTZ機能：PTZとは、Pan/Tilt/Zoomの略称で、雲台の水平・垂直方向の回転およびレンズズーム操作を指します。
設定メニューでは、通信プロトコル「Pelco-P」「Pelco-D」の切り替えが可能です。
また、接続するカメラに応じて、信号転送のビットレートおよび操作速度を調整できます。
上記機能は、コントロールキーパッドの設定と合わせることで、遠隔操作が可能になります。

8. IR設定（昼夜切替設定）：日中・夜間モードの切り替え方法を以下から選択可能です。

Light Sensor Detect:

外部または内蔵の光センサーで明るさを検知し、モードを切り替えます。

特定のモデルではユーザーがルクス値を設定することもできます。

Schedule Mode:

設定した時刻に基づき、自動的に昼夜モードを切り替えます。

IR Cut Confirm:

IP CAM を使用すると、IP CAM がアクティブになってから 5 分ごとに、

3 回連続してトリガーされるかどうかを IP マスクで判断できます。

9. プライバシーマスク (Privacy Mask) : OSDを使用して画面上の特定エリアに単色のボックスを表示し、
プライバシー保護のためにその部分を隠すことができます。

音声設定

ライブ映像

ステータス

設定

V2.1.28-42-B660

admin | ログアウト

設定

ビデオ

カメラ

音声

日付時間

ネットワーク

DDNS

ネットワークプロトコル

アラーム

レコード

PTZ

メンテナンス

ユーザーアカウント

設定データ

ファームウェア更新

再起動

言語 (Language)

音声

音声 入力	☐ OFF ☒ LINE IN
音声 出力	☒ OFF ☐ ON

マイクのボリューム

ゲイン入力 [0 - 100]	60
エンコーダー	G711U
チャンネル	1 (mono)
サンプルレート	8Khz

受け入れる

リセット

デフォルト

1. 音声出力オン: 音声の入力および出力をONまたはOFFに設定できます。
2. 入力ゲイン(音量): 音量レベルの範囲は0～100です。

音量を上げすぎると音割れやノイズの原因となるため、
適度な音源出力で安定した音質を得るためには、
音量レベルを下げることを推奨します。
3. デコード: 音声コーデックはG711U、PCM、G711A、AACの4種類から選択可能です。

これらは多くの録画装置との互換性があり、ニーズに応じて柔軟に設定可能です。
4. チャンネル: チャンネル1 (Mono) およびチャンネル2 (Stereo) の設定が可能です。
5. サンプルレート: これはデジタル音声信号が1秒間に音波を分割する回数を指し、
「サンプリング周波数」とも呼ばれます。
サンプリング周波数が高いほど、音波をより細かく分割でき、
元の音に近い高品質なデジタル音声を得ることが可能です。

日付と時刻の設定

ライブ映像

ステータス

設定

V2.1.28-42-B660

admin | ログアウト

設定

ビデオ

カメラ

音声

日付時間

ネットワーク

DDNS

ネットワークプロトコル

アラーム

レコード

PTZ

メンテナンス

ユーザーアカウント

設定データ

ファームウェア更新

再起動

言語 (Language)

日付時間

	年	月	日	時	分	秒
システム時間	2026	7	23	16	28	16
PC 時間	2026	7	23	16	28	17
手動						

タイムゾーン+▼8▼:00▼

タイムサーバーと同期☐

SNTP サーバーtime.nist.gov

Sync. Interval Second [60 - 86400 秒]86400

自動に再起動☐

再起動の時間0▼:0▼:0▼

受け入れるリセットデフォルト

1. 一時間設定:ユーザーが手動でPCの時間と同期させます。SNTP時刻校正の方式もありますが、インターネット環境や本体でSNTPサーバーの使用が必要です。
現地接続するカメラのタイムゾーンも設定できます。
2. 自動に再起動:デバイスが長く作動すると データパケットが溜まります。
装置を自動に再起動オンにすると設定した時間でズレの秒数を経たら再起動し、溜まったパケットを破棄することでカメラの安定性を確保します。

インターネット設定

ライブ映像

ステータス

設定

V2.1.28-42-B660

admin | ログアウト

設定

ビデオ

カメラ

音声

日付時間

ネットワーク

DDNS

ネットワークプロトコル

アラーム

レコード

PTZ

メンテナンス

ユーザーアカウント

設定データ

ファームウェア更新

再起動

言語 (Language)

ネットワーク

IP

DHCP ☐

固定IP ☒

PPPoE ☐

ホストネーム

MTU

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ IP

MTU

PPPoE アカウント

PPPoE パスワード

パスワードの確認

MTU

DNS 設定

優先 DNSサーバー

Certificate

☐ AUTO

☒ 手動

8.8.8.8

代替 DNSサーバー

Load

Create

MAC

本体MAC Address

00557BB57DF7

復元

現在のMAC Address

受け入れる

リセット

デフォルト

ネットワーク設定: この機能を使用すると、ユーザーは IE インターフェイスを介して接続の組み込み IP を変更できます。

ローカルネットワークの構築やスイッチと組み合わせて使用もできます
多様なネットワーク環境を構築できます。

1. DHCP:ルーターから自動的にIPアドレスを割り当てる方式。
2. 固定IP:手動でカメラにIPアドレスを設定する方式。
3. PPPoE:ユーザーがADSLなどの固定IPアカウントを使用して、直接インターネットに接続するための設定。
外部からのアクセスが必要な場合、この機能で迅速な接続が可能です。
4. MAC:製造元が製品の生産時期や機種 of 識別のために使用する情報です、
弊社のIPCamSearcherソフトウェアを使用すると、
デフォルトIPアドレスの状態にあるネットワークカメラを自動検索し、
同一ネットワーク上で接続中のすべてのネットワークカメラを検出できます。

DDNS設定

ライブ映像

ステータス

設定

V2.1.28-42-B660

admin | ログアウト

設定

ビデオ

カメラ

音声

日付時間

ネットワーク

DDNS

ネットワークプロトコル

アラーム

レコード

PTZ

メンテナンス

ユーザーアカウント

設定データ

ファームウェア更新

再起動

言語 (Language)

DDNS

DDNSを登録	☐
サーバーアドレス	Vacron dns.cctvdvr.com.tw
ホストネーム	my-id.cctvdvr.com.tw
IDログイン	my-id
パスワード	
IPを自動検知	☒
中国語【簡体】 [60 - 3600 秒]	600
カスタマー	☐

受け入れる

リセット

デフォルト

1.DDNS設定：DDNSはリダイレクトの一種です。ユーザーがDDNSの新規登録を申し込んだ後（Vacron の DDNSを利用したい時に担当営業員まで申し込み可能）、特定のドメインを取得できます。遠隔地にあるユーザーが本体ドメインを入力すれば申し込んだIPアドレスにリダイレクトできます。現段階ではDyDNS、NO-IP & Vacron の DDNSが利用できます。

ネットワークプロトコル構成

ネットワークプロトコル

最大ストリーム接続数 [0 - 20]	16		
---------------------	---------------------------------	--	--

HTTP			
HTTPポート [1 - 65535]	80		
HttpsEnable	☐		
HTTPS Port [1 - 65535]	443		
NVRの設定パラメータと同期	任意 ☐	指定 IP	
ONVIF 有効	☒		
最大HTTP接続数 [0 - 20]	16		

RTSP			
有効	☒		
RTSP ポート [1 - 65535]	554		
映像パケットサイズ [1400 - 8192]	1452		
接続状態保持信号の確認	☐		
RTSP認証	☐		
最大RTSP接続数 [0 - 20]	16		

Platform			
有効	☐		
サーバーアドレス	gms2.vacron.com		
ポート	13579		
装置ID	IPB57DF7		

FTPサーバー			
SFTP	☐		
FTPサーバー		ポート	21
ユーザーネーム			
パスワード		パスワードの確認	
ファイルのアップロードパス	default_folder	ファイル名称	
アップロードの間隔 [0=無効, 1 - 3600 秒]	0		

SMTP サーバー			
SMTP サーバー		ポート	25
ユーザーネーム		TLS/SSL	☐
パスワード		パスワードの確認	
サーバー検証を要求	☐		
Email 送信者		Email レシーバー	

HTTP Server			
HTTP Server		ポート	80
ユーザーネーム			
パスワード		パスワードの確認	
Path Motion	/Report?Event=MD		
Path IVA	/Report?Event=IVA		

1. 最大接続ストリーム数:この項目は、カメラに接続できる同時ストリーム数を制限する設定です。
カメラの安定動作を維持するために、過度な接続による負荷を防止します。

2. HTTP:HTTPに関連するネットワークプロトコルの設定に関する項目です。

HTTPポート(サーバーポート):ユーザーがカメラを変更するための対応するポート番号が表示されます。
シーンドメイン仕様に合わせて、
同じ IP カメラに異なるポート番号を設定することも、
IP スイッチの方向に外部からポート番号を設定することもできます。

NVRからの設定パラメータの受信:

接続されたカメラがコマンドパケットを受け入れるバックエンドシステムまたはIPを設定
してパラメーターを作成するかどうかをユーザーが構成できるようにする変更動作を提供します。

ONVIFプロトコルに基づく制御コマンドを受信するかどうかの設定です。初期設定はON(有効)です。

3. Platform:この機能は、中央制御サーバーと連携してカメラ映像を送信する機能です。
インターネット接続可能なモデルでのみ利用可能です。

4. RTSP:このエリアは、RTSPに関連するネットワークプロトコルの設定に関する項目です。

RTSPサーバーポート:Onvif のプロトコル組み込みチャンネルは 554 です。
このフィールドでは、ユーザーはカメラの対応するポート番号を変更できます。
この番号は、他のメーカーのプロトコルで変更できます。

RTSP接続確認:このオプションをオンにすると、カメラソフトウェアが定期的に
Rtsp プロトコル接続を検出し、ログで接続状態を確認できます。

5. FTP サーバー:FTPは独自のアーキテクチャ、つまりカメラ側とサーバー側です、
ホスト型アーキテクチャを実行するには、コンソールから FTP サーバーを開く必要があります、
Client Camera フィールドに設定したサーバーの URL を入力すると、
監視スクリーンショットをバックアップとして FTP に送信できます。
一方、ユーザーは [アップロード間隔] フィールドに、
一度にキャプチャする画像の秒数を入力できます。
6. 設定完了後、アラームトリガー時に撮影された画像を指定のメールアドレスに送信することで、
通知機能として活用できます。

アラーム設定

アラーム

#	有効	スケジュール	から	まで
1	☐	毎日 v	0 v : 0 v	0 v : 0 v
2	☐	毎日 v	0 v : 0 v	0 v : 0 v
3	☐	毎日 v	0 v : 0 v	0 v : 0 v
4	☐	毎日 v	0 v : 0 v	0 v : 0 v
5	☐	毎日 v	0 v : 0 v	0 v : 0 v
6	☐	毎日 v	0 v : 0 v	0 v : 0 v
7	☐	毎日 v	0 v : 0 v	0 v : 0 v
8	☐	毎日 v	0 v : 0 v	0 v : 0 v

モーション検知	ネットワークの断線	ビデオロス検知
---------	-----------	---------

モーション検知

アラーム有効

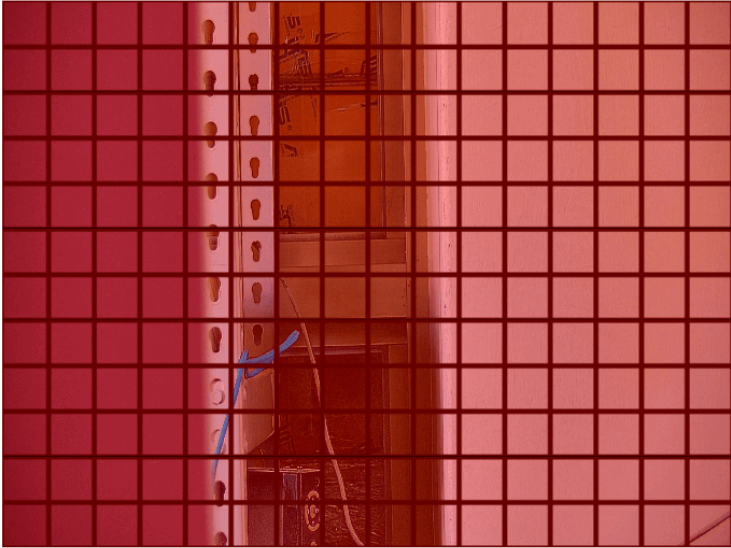
☒ OFF ☐ Continuous ☐ Single

アラームの持続時間 [0 - 60 分]

分 秒

感度 [0 - 100]

☐ Low ☒ MEDIUM ☐ HIGH



全部指定

全部クリア

Interlocking setting

FTP経由アップロード

☐

SMTP経由アップロード

☐

サーバーポスト

☐

受け入れる

リセット

デフォルト

1. スケジュール：設定された時間帯のみアラーム検知を有効化し、
それ以外の時間帯は自動的に無効になります。週ごと・曜日ごと、
時間帯別に詳細なスケジューリングが可能です。
2. モーション検知：「有効」にチェックを入れると、設定画面下部にカメラの静止画像が表示され、
1216のグリッドエリアから検知範囲を指定できます。
設定した検知エリアは赤色で表示されます。映像内で変化や動きを検知すると、
カメラ本体またはバックグラウンドシステムへ警報を送信します。
モーション検知機能を活用することで、ユーザーは警報発生時間の検索を容易に行え、
不要な録画を削減し、録画容量を節約できます。

感度設定：操作画面から、環境に合わせて感度を「高・中・低」に設定できます。
また、数値入力による詳細な感度調整にも対応しており、
より正確な警報判定が可能です。感度設定範囲は0～100です。
3. 警報継続時間：警報トリガーを有効にし、検知エリアを設定します。設置環境に応じて、
各カメラのトリガー時間を個別に調整できます。
最短2秒～最長10分まで設定可能です。画面上のアラート表示と連動することで、
効果的な警告を実現します。
4. 遮蔽検知：故意の妨害（レンズの覆い、スプレー等）に対応可能です。
感度を「高・中・低」に調整することで、誤検知を低減できます。
5. ネットワーク中断：この機能は、カメラが接続されている監視システムとの連携が必要です。
バックエンドシステムがリアルタイムに状態を表示するほか、
「FTPへの送信」や「メール送信」オプションを有効にすることで、
ユーザーに警告通知を送信できます。
6. 外部トリガー：I/O対応モデルまたは外部I/Oを搭載した製品では、本機能を有効にすることで、
外部センサーや検知機器と連携できます。
外部入力信号を利用する場合は、映像モーション検知機能を使用する必要はありません。
また、各モデルの入力/出力設定や高低電位差を用途に応じて設定でき、
多様なシステム構成に対応できます。
7. FTP送信：本機能を使用するには、ネットワーク設定でFTPサーバーを設定する必要があります。
8. メール送信：本機能を使用するには、ネットワーク設定でメールサーバーを設定する必要があります。

録画設定

レコード

レコード	Normal ▼
チャンネル	Stream1 ▼
録画時間 [60 - 2592000 秒]	300
Record Interval [0 - 1800 秒]	0

#	有効	スケジュール	から	まで
1	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
2	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
3	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
4	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
5	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
6	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
7	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
8	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼

受け入れる リセット デフォルト

1. 録画スケジュール：カメラにmicroSDカードを装着すると、録画スケジュール機能を利用できます。
- メニューから曜日ごと、または毎日の録画スケジュールを設定することで、指定した開始時刻から終了時刻までmicroSDカードへ循環録画（上書き録画）を行えます。
- 録画ファイルは弊社の録画ファイルは隠しパーティションモードで処理され、カメラが突然電源オフになった場合でも、録画内容の完全性は保持されます。

PTZ機能設定

PTZ

PTZ	
プロトコル	PelcoD ▼
装置ID [1 - 254]	1
ボーレート	9600 ▼
速度	16 ▼
最小移動時間	0 ▼ 秒

受け入れる リセット デフォルト

- 1.プロトコル：PelcoP と PelcoDを選択出来ます
- 2.設備ID:PTZで設定可能 (1～254に対応)
- 3.シリアル転送速度：PTZの転送速度を設定します。
2400、4800、9600、19200、115200 から選択可能です。
- 4.速度：0-23選択可能です。
- 5.最小移動時間：範囲：0-1選択可能です。

D. メンテナンス説明

ユーザーアカウント説明

ユーザーアカウント			
adminユーザーネーム	admin		
adminパスワード		パスワードの確認	
操作者ユーザーネーム	user		
操作者パスワード		パスワードの確認	
ビューアユーザーネーム	viewer		
ビューアパスワード		パスワードの確認	
受け入れる リセット デフォルト			

1. アカウント管理：ユーザーアカウントは3種類の権限レベルに対応しています。
管理者 (Administrator)：IEブラウザの管理画面ですべての設定および操作を行えます。
一般ユーザー (Operator)：アカウント管理を除く各種設定および操作を行えます。
閲覧ユーザー (Viewer)：ライブ映像の表示および録画映像の再生のみ行えます。

設定ファイル説明

設定データ	
設定データ保存	
設定データ	保存
設定データ読込	
☒ 設定データ読込	瀏覽...
☐ 工場出荷状態	
☐ ネットワーク設定を変更しない	Restore

1. バックアップ設定：本機能では、現在の設定内容を Profile.bin ファイルとしてエクスポートできます。
エクスポートした設定ファイルを他のカメラへインポートすることで、同一の設定を簡単に適用できます。
また、不具合が発生した場合は、Profile.bin ファイルを弊社へご提供いただくことで、開発部門 (R&D) が同じ設定環境を再現し、原因調査や不具合解析を行うことができます。
2. システム設定の復元：本機能では、カメラのファームウェアを更新できます。アップデート後は、最適化された設定パラメータを復元し、カメラを自動的に再起動します。
ネットワーク設定やIPアドレスなどの通信設定は保持されるため、アップデート後に工場出荷時設定へ初期化されることなく、そのまま運用を継続できます。

ファirmware更新説明

ファームウェア更新

Please use NT98525_HUNT_imx307_P234_XXXXX.bin

ファームウェアファイルのアップロード

ファirmwareのダウンロード: 最新のファirmwareは弊社公式サイトで提供しています。
ユーザーはファirmwareダウンロードページから最新バージョンをダウンロードし、
本機能を使用して更新できます。

再起動

再起動

☐ 再起動

システムを再起動

再起動: カメラを操作し再起動、再起動をクリックする、所要時間は50秒。

言語(Language)

言語

言語
Language

English
繁體中文
日本語
français
Español
ภาษาไทย
Русский
Português
Italiano
한국의
bahasa Indonesia

言語設定: 本ページから表示言語を切り替えることができます。
11か国語に対応しており、ユーザーは用途に応じて操作画面の言語を変更できます。
また、ユーザーのご要望に応じて対応言語を追加することも可能です。



<https://www.vacron.jp>

Made in Taiwan
